

2014年9月30日

日本ファシリティ・ソリューション株式会社
三菱UFJリース株式会社
山銀リース株式会社

固定価格買取制度と ESCO 手法を組み合わせた水力発電事業者向けサービス契約を締結

日本ファシリティ・ソリューション株式会社（本社 東京都品川区／代表取締役社長 岡 英樹）、三菱UFJリース株式会社（本社 東京都千代田区／代表取締役社長 白石 正）、および山銀リース株式会社（本社 山形県山形市／取締役社長 吉田 勉）は、最上川水系馬見ヶ崎川において水力発電事業を行う株式会社山形発電（本社 山形県山形市／代表取締役 武田 清一郎）^{※1}との間で、再生可能エネルギーを対象とする固定価格買取制度に、省エネルギー化をパッケージで実現する ESCO（Energy Service Company）の手法を組み合わせたサービス契約（以下「ESCO 契約」）を締結しましたのでお知らせします。

※1 最上川中流土地改良区（理事長 武田 清一郎）が100パーセント出資して設立された会社です。

水力発電は、太陽光発電、風力発電、地熱発電などと並び、環境への負荷が少ない再生可能エネルギーであり、昼夜・年間を問わず安定した発電を行うことができることから、化石燃料に代わる貴重なエネルギー源と注目されております。2012年7月には固定価格買取制度が開始されましたが、その一方で、新たな施設を建設・導入するためには多額の初期費用が必要となることが、普及に向けた大きな課題となっていました。

このような中、ビルや病院などエネルギー消費量の多い施設を対象に省エネルギー化をパッケージで実現する ESCO 事業において豊富な実績を有する日本ファシリティ・ソリューションと三菱UFJリースの2社は、株式会社明電舎（本社 東京都品川区／取締役社長 浜崎 祐司）、東京発電株式会社（本社 東京都台東区／取締役社長 川村 忠）、および株式会社わだ電気設備事務所（本社 山形県山形市／代表取締役 和田 宏司）と共同して、ESCO サービスの特徴の一つである省エネルギー効果保証を応用した水力発電施設を対象とする新たなスキームを組成いたしました。なお、本件スキームには山形県に営業基盤を有する山銀リースが、日本ファシリティ・ソリューション、三菱UFJリースと共に ESCO 事業者として参画しております。

このスキームでは、発電事業者は固定価格買取制度を活用することができ、ESCO 契約に基づくサービス料の支払原資は、水力発電により得られた売電収入の中から賄われる形となります。また、発電事業者は初期投資の負担なく発電効率の良い設備を導入することができることに加え、ESCO 事業者が発電量を保証することにより、安定的な収入を確保することが可能^{※2}となります。

※2 発電事業ごとに導入効果は異なります。

本件スキームでは、日本ファシリティ・ソリューション、三菱UFJリースおよび山銀リースの3社がESCO事業者として事業全体を運営していくほか、明電舎がEPC（機器設計・製作・工事の一括請負契約）を、東京発電が水力発電全般における総合技術支援を、わだ電気設備事務所が設備のメンテナンスをそれぞれ行います。また、株式会社山形銀行（本社 山形県山形市／取締役頭取 長谷川 吉茂）は山銀リースへのバックファイナンスを通して、当事業の実現を支援します。

日本ファシリティ・ソリューションは、東京電力（株）、三菱商事（株）、（株）関電工、アズビル（株）の4社が出資し2000年12月に設立。これまで100件以上のESCOサービスを手がけるとともに、「省エネルギーセンター会長賞」など数々の受賞実績を有しております。これからも高い専門能力と確かな技術力で、省エネルギーを軸としたエネルギーソリューションをお客さまにお届けしてまいります。

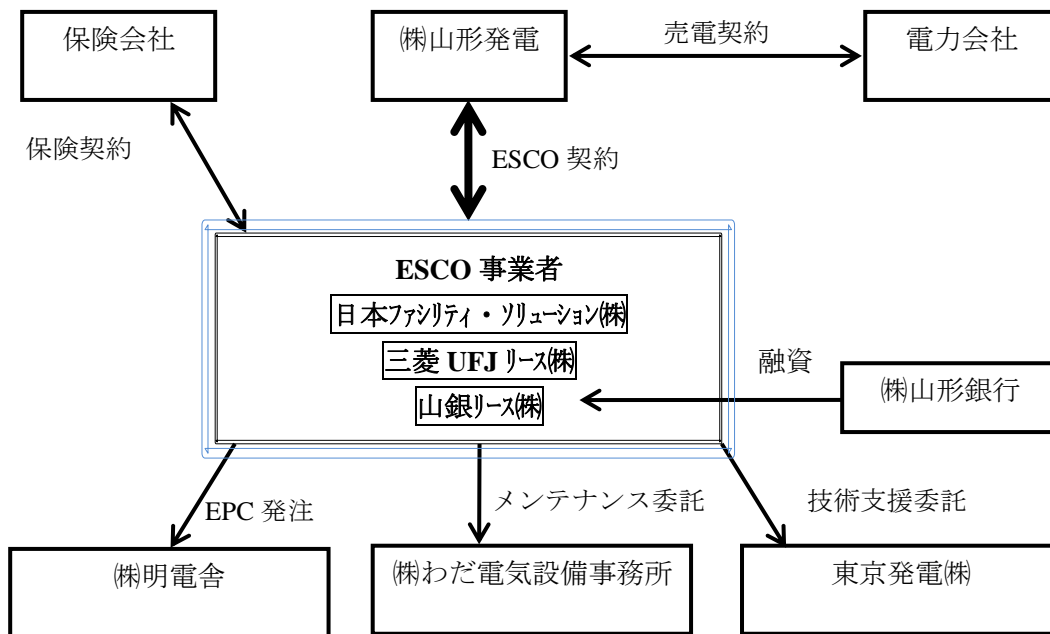
三菱UFJリースは、環境・エネルギー事業を重点分野の一つと位置付け、ファイナンス機能はもとより、関連するサービスの提供や事業参画など様々な取組みを積極的に推進しております。国内トップクラスの実績をもつESCOなどの省エネサービスの提供機能の拡充や、再生可能エネルギーの普及促進を通じて、経済発展と環境保全の両立に貢献してまいります。

山銀リースは、県内唯一の地元金融機関の系列リース会社として、お取引先の業務効率化や業容の拡大に貢献し、地域とともに成長発展を目指してまいります。

【案件概要】

発電事業者	: 株式会社山形発電
ESCO事業者	: 日本ファシリティ・ソリューション株式会社 三菱UFJリース株式会社 山銀リース株式会社
対象設備	: 水力発電設備（出力 1,374kW）
事業期間	: 23年間（工事期間3年＋売電期間20年）
事業開始	: 2017年4月（予定）

[本件取組のスキーム図]



以上

この件に関する問い合わせ先

- 日本ファシリティ・ソリューション株式会社 企画室 03-6371-2500
- 三菱UFJリース株式会社 広報IR部 03-6865-3002
- 山銀リース株式会社 齋藤 023-632-4983